

復活徹夜祭

2010.4.3.

ご復活祭おめでとうございます。

今年もご復活祭を迎え、私たちの主イエス・キリストのご復活を祝って、この復活徹夜祭のミサをささげています。主の復活を祝う私たちの心に、この復活徹夜祭の典礼が記念する、私たちの主イエス・キリストの復活はどのような喜びをもたらすのでしょうか。

今晚私たちがその復活を祝う主イエス・キリストは、これまで私たちが抱えてきた、そして今もその中にある私たちの一人ひとりの人生の苦闘と苦悩の全てを、ご自分も一人の人間となり、十字架を担い、十字架にかけられて死ぬことによって、自らも引き受けてくださった神の子です。イエス・キリストは何故、あのような苦しみの中にあって、一言の愚痴も漏らさず、自分を十字架に釘付けにした者たちを呪うことなく、あの十字架の苦しみを最後まで耐え抜くことが出来たのでしょうか。それが神の愛だからです。愛する者たちのために、苦しむことをものともしない、神の愛の姿だからです。苦しみの底にある私たち一人ひとりの傍らにあって、自らも私たちの苦しみの全てをご自分のものとするのが、神がご自分に課せられた神の意志だからです。キリスト教の教会が伝えて来たこの信仰を受け入れて、十字架につけられて死んだイエス・キリストを神の子、私たちの救い主と信じることが出来た時、私たちは自分が神から見捨てられているのではないことを知ります。底なしの蟻地獄のような苦しみの底に確かな足場を得て、その淵から脱して行くために、私たちはこのような神を必要とするのです。そのような私たちがいるから、神は自ら私たち全ての者の苦しみの底に下りてきてくださったのです。イエスの十字架は、そのような神の全ての人のための無限の愛のお姿を示しているのです。

イエス・キリストの十字架をこのように受け止めることが出来る時、私たちは私たちの苦しみの底において、神と出会うことが出来ます。私たちの苦しみの中にあって、私たちの苦しみをともに苦しんでくださる、私たちに注がれている、イエスの十字架において示された神の愛に目を上げてゆくことが出来るようになります。そればかりではなく、イエスの十字架において示されている私たちへの神の愛に心を向け、その愛を信じる事が出来る時、私たちはイエス・キリストの復活がどのようなことを意味するかを、身を持って味わうことが出来ることでしょう。

イエス・キリストの復活は、今も私たちが抱えている苦しみを否定するものではありません。イエス・キリストは十字架上に死んで、復活されたのです。苦し

みの中にある私たちに復活を告げ、苦しみの中にある私たちに復活のいのちへと招くために、十字架の上に死んでくださったのです。そして、十字架において示された私たちへのこの神の愛は、私たちがその中にある、私たちの苦しみに屈して、無意味なものとして終わるのではないことをイエス・キリストの復活は告げているのです。十字架の上に死なれたイエス・キリストの復活は、私たちの苦しみの全てに打ち勝つ、神の愛の全能の力を私たちに示しているのです。そのようなものとして、イエス・キリストの復活は、苦しみの底にある私たち一人ひとりに対する、私たちのための神の愛の勝利を告げているのです。

苦しみの底にある私たちに告げられたこのような神の愛を信じる事が出来る時、私たちは暗い苦しみの底に差し込む出口からの光を見出すことが出来ます。その光を私たちの信仰において真実見出すことが出来る時、私たちはその出口から差し込む光を目指して、苦しみの底から立ち上がって、十字架を担って歩まれたイエス・キリストの後に従って、一步一步、新たに歩み出す力が自分の中に湧いてくることを感じる事が出来ることでしょう。私たちのために十字架の上に死んでくださり、十字架の死を超えて復活された神の子、私たちの救い主イエス・キリストをどこまでも信じて生きるとはこのようなことです。

そのような信仰の恵みが与えられたことに感謝し、私たちのために十字架の上に死んでくださった、私たちのいのちの主であるイエス・キリストの私たちへの愛の勝利を祝って私たちはこの復活祭を祝うのです。

今晚、イエス・キリストの復活を祝うこの徹夜祭で洗礼をお受けになられる方々の上にこのような喜びの光の注がれることを祈って、これから行われる洗礼式にご一緒にあずかりましょう。私たちの一人ひとりのために十字架上に死んで復活された、私たちが信じている神の子、私たちの主イエス・キリストがこの洗礼式に立ち会う私たち全ての者の行く手に、そのいのちに満ちた愛の勝利の光を輝かせてくださいますように。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高

高円寺教会の主日の説教はインターネットで読むことができます。

高円寺教会ホームページ <http://www.koenji-catholic.jp/>